

通信トラフィックデータに基づく社会ネットワーク構造の現象論的分析



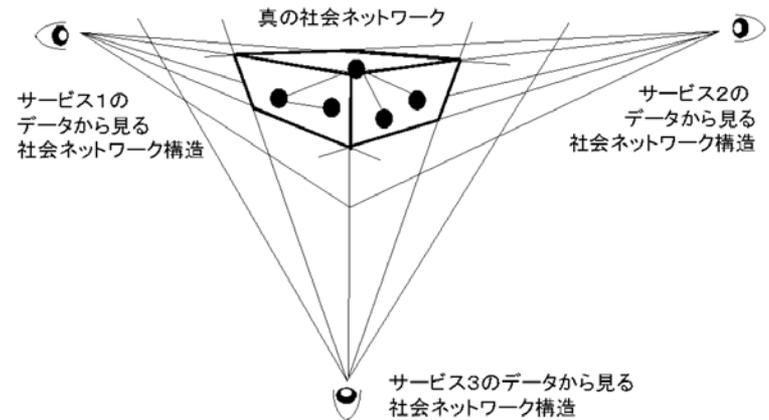
システムデザイン学部 経営システムデザインコース 教授

会田 雅樹 (社会情報ネットワーク研究室)

E-mail maida@sd.tmu.ac.jp

URL http://homepage.mac.com/aida_lab/

1. 「現象論」とは、目の前で起きている現象や実験結果を正しい仮説として受け入れ、そこから論理的に導かれる結果として背後の基本法則の構造を探る方法である。
2. 情報通信ネットワークの利用履歴等の各種データは、背後にある社会ネットワークの特性を何らかの形で反映しているはずである。
3. しかし、通信履歴自体の中身を詳細に分析するだけでは、例えば組織内の人間関係や法人間の取引といった「ネットワークの中で起こっている個別の状況」の理解には有効であっても、背後にある社会ネットワークの全体像を理解することは難しい。
4. 本講演では、通信ネットワークの各種データを基にして、通信ネットワークの背後にある社会ネットワークの全体像の理解を目指す試みを解説する。
5. また、分析の結果導かれた社会ネットワークの構造が、特定の通信サービスに依らない普遍的なものでありことを検証する試みについても紹介する。



特定サービスのデータから見る社会ネットワークと
真の社会ネットワーク構造の関係